



## 2025年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月11日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8127 URL <https://www.yamatointr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR経営企画室長 (氏名) 保田 大輔 TEL 03-5493-5629  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年8月期第3四半期の連結業績（2024年9月1日～2025年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第3四半期	15,167	△6.6	125	△67.2	203	△55.5	139	△59.2
2024年8月期第3四半期	16,238	1.2	382	△19.1	456	△36.4	342	△40.8

(注) 包括利益2025年8月期第3四半期 317百万円 (△67.3%) 2024年8月期第3四半期 969百万円 (32.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第3四半期	6.80	—
2024年8月期第3四半期	16.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期第3四半期	24,345	17,336	71.2	843.86
2024年8月期	24,007	17,348	72.3	844.41

(参考) 自己資本 2025年8月期第3四半期 17,336百万円 2024年8月期 17,348百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	6.00	—	10.00	16.00
2025年8月期	—	6.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	△4.0	150	△42.9	250	△35.2	200	△43.3	9.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	21,302,936株	2024年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	758,490株	2024年8月期	757,953株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	20,544,689株	2024年8月期3Q	20,545,666株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安の影響による物価高、金利・賃金の上昇等にみられるとおり、インフレ社会が到来し時代の転換期を迎えております。更には、欧州・中東における地政学リスクの高まりや米国を中心とする経済政策の動向等、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、所得環境の改善やインバウンド需要の拡大による個人消費の回復傾向が一部にみられるものの、長引く猛暑など予想をはるかに上回る気候変動や、米やガソリン等をはじめとする継続的な物価上昇によるお客様の生活防衛意識の更なる高まり等の事業環境への影響が懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもどのような環境下でも、お客様の不満や問題を解決し 求められるものを提供し 最初に想起される真のブランド「シン・ブランド創り」を目指しております。

これらを背景に始動した中期ビジョン「Yamato 2026」では10年後を視野に、既顧客の活性化を大前提としながらも、次の世代の潜在顧客獲得により比重を置いた戦略を実践してまいります。そして、10年後のあるべき姿として、次の世代のお客様が当社のブランドを認知認識し、私たち創り手の意図を理解し、詳細な特徴を語り他者へ共有できる、更にはお客様同士も共鳴できる状態。お客様も社員も誇れる真のブランドになっている姿を目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、「“大人のTPO”をスマートに演出するブランド」をコンセプトに、改めて原点である顧客起点に立ち返り、既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築してまいります。

潜在顧客の獲得に向けましては、クロコダイルグループにおける先進的な役割を担う2つのストラテジックラインに注力してまいります。デザイン性トレンド性を最も重視したラインである「クロコダイル コード」は、スタイル/コーディネート提案を強化しております。もう一方の「スイッチモーション クロコダイル」は、先進的なスポーツ業界が取り組んでいる工夫や進化といった要素を取り入れ、「もの創り」を最も重視したラインとなり、引き続き戦略的に提供価値の構築を目指してまいります。

更に商品、店舗、コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

「創造的な移動を続ける都市生活者のための機能服」をコンセプトに、オンラインショップをベースに展開する「CITERA (シテラ)」は、常に快適で洗練された時代に響くスタイルを創り出し、ブランドの顔となる商品開発等に引き続き注力することで更なる売上拡大を目指してまいります。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、ハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の更なる拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、EC事業の著しい成長に伴い小口配送の件数が年々増加しております。近年導入を進めてきた自動ソーター、自動製封函機、及びカメラ認証システムも活用し、物流業務の変化にも対応しております。今後も、積極的な投資による業務の自動化、省人化を推進することで、更なる生産性向上を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が151億6千7百万円（前年同期比6.6%減）となりました。利益面では売上総利益率は57.3%（前年同期比0.1ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については85億6千1百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は1億2千5百万円（前年同期比67.2%減）、経常利益は2億3百万円（前年同期比55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千9百万円（前年同期比59.2%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業149億5千3百万円（前年同期比6.7%減）、不動産賃貸事業2億1千4百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は109億3千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ4千5百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が11億4千8百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が4億3千8百万円それぞれ増加し、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金が74億5千5百万円から58億1千7百万円と16億3千8百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は134億9百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億8千3百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券が3億2百万円、有形固定資産が8千万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は243億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は55億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千9百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が4億6千6百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億1千2百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は14億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が1億5百万円増加し、長期借入金が7千2百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は70億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は173億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千1百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が1億8千9百万円減少し、その他有価証券評価差額金が1億7千9百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は71.2%（前連結会計年度末は72.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想については、2025年3月14日に公表しました内容に変更はございません。（なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。）

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,155,520	4,217,781
受取手形、売掛金及び契約資産	1,244,374	1,682,470
有価証券	2,300,000	1,599,344
商品及び製品	2,070,700	3,219,525
仕掛品	85,664	85,457
その他	125,410	131,861
流動資産合計	10,981,670	10,936,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,379,936	1,480,026
機械装置及び運搬具(純額)	98,200	85,139
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産(純額)	28,263	17,957
建設仮勘定	220	-
その他(純額)	77,428	81,370
有形固定資産合計	6,763,117	6,843,561
無形固定資産		
投資その他の資産	10,330	5,963
投資有価証券	5,861,536	6,163,933
差入保証金	121,673	121,646
退職給付に係る資産	195,182	203,689
繰延税金資産	2,262	2,127
その他	99,011	95,886
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	6,251,994	6,559,611
固定資産合計	13,025,442	13,409,136
資産合計	24,007,113	24,345,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,870	497,000
電子記録債務	3,514,315	3,980,482
1年内返済予定の長期借入金	220,043	230,572
未払法人税等	63,216	32,967
賞与引当金	74,502	-
その他	886,691	817,035
流動負債合計	5,368,639	5,558,057
固定負債		
長期借入金	558,250	630,888
資産除去債務	78,728	82,282
繰延税金負債	432,066	537,788
その他	221,104	199,888
固定負債合計	1,290,150	1,450,846
負債合計	6,658,789	7,008,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	6,521,562	6,332,447
自己株式	△364,510	△364,693
株主資本合計	16,063,397	15,874,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,303,764	1,482,775
繰延ヘッジ損益	△5,335	△7,441
退職給付に係る調整累計額	△13,502	△12,759
その他の包括利益累計額合計	1,284,926	1,462,573
純資産合計	17,348,323	17,336,673
負債純資産合計	24,007,113	24,345,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	16,238,085	15,167,796
売上原価	6,920,122	6,480,411
売上総利益	9,317,962	8,687,384
販売費及び一般管理費	8,935,185	8,561,798
営業利益	382,776	125,586
営業外収益		
受取利息	17,642	27,359
受取配当金	37,611	46,247
為替差益	9,478	-
その他	15,841	12,309
営業外収益合計	80,573	85,916
営業外費用		
支払利息	6,154	6,061
為替差損	-	1,523
その他	474	851
営業外費用合計	6,629	8,436
経常利益	456,720	203,066
特別損失		
固定資産除却損	2,786	458
災害による損失	8,841	-
特別損失合計	11,627	458
税金等調整前四半期純利益	445,093	202,607
法人税、住民税及び事業税	100,406	60,413
法人税等調整額	2,438	2,592
法人税等合計	102,845	63,005
四半期純利益	342,247	139,601
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	342,247	139,601



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	342,247	139,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	616,763	179,010
繰延ヘッジ損益	5,383	△2,106
退職給付に係る調整額	4,857	742
その他の包括利益合計	627,004	177,647
四半期包括利益	969,252	317,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	969,252	317,249
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,030,816	207,268	16,238,085	—	16,238,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,030,816	207,268	16,238,085	—	16,238,085
セグメント利益	762,794	114,929	877,724	△494,947	382,776

(注)1. セグメント利益の調整額△494,947千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,953,103	214,692	15,167,796	—	15,167,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,953,103	214,692	15,167,796	—	15,167,796
セグメント利益	512,237	100,528	612,765	△487,179	125,586

(注)1. セグメント利益の調整額△487,179千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	121,886千円	129,851千円